

各位

環境安全報告書2007の発行について

第一工業製薬株式会社

第一工業製薬(本社:京都市南区、社長:大柳雅利)は、このたび「環境安全報告書レスポンシブル・ケア活動2007」を発行しました。今年度は、保安防災の取り組み、地域社会との関わりの報告内容を充実させ、工場関連の掲載情報を増加させました。報告の対象範囲にはグループ会社は含まず、また対象地域は日本国内、期間は2006年4月～2007年3月の1年間の活動です。報告書の要点はおおよそ下記の通りですが、ホームページ(<http://www.dks-web.co.jp>)に掲載しています。

記

1. 環境負荷低減への取り組み

炭酸ガス、大気汚染物質の排出量、CODなどの環境負荷物質の排出量データを図示しています。炭酸ガスは本年度より管理部門のデータも加えました。NOx、SOxとばいじんは減少しました。排水量は増加しましたが、CODは減少しています。

2. エネルギー使用量

エネルギー使用量は生産量の増加にともない前年度と比較し増加しました。また、エネルギー原単位につきましても、多消費型製品の生産比率が高まり増加しました。

3. 大気汚染物質の排出量

エネルギー使用量は増加したものの、A重油から天然ガスへの切り替えにより、SOxの排出量は11.5tで、前年度比3tの減少、ばいじん排出量は2.5tで、0.9tの微減となりました。NOxの排出量は、125tで前年度比6t減少しました。

4. 水質汚染物質の排出量

排水量は2,053千m³で、前年度比87千m³で4%増加しましたが、COD排出量は44tで、9tの減少となりました。

5. 化学物質管理への取り組み

PRTR法による届出対象物質数は38で、大気への総排出量は、42.90t、水域へは1.24t、土壌への排出はありませんでした。廃棄物への移動もトルエンの再資源化を推進し削減しました。

PCBを使用したトランス、コンデンサ類は、法令に基づく適正な保管管理をしており、日本環境安全事業(株)の早期登録制度に予約を行い、処理に向けた準備をしています。

6. 環境目標と環境会計

環境目標は、省エネルギーの推進、温室効果ガスや産業廃棄物の削減などの項目に取り組んでいます。埋立量、廃棄物発生量は、ともに微増しています。環境会計は、新研究所の建設もあり公害防止対策に322百万円の投資をしました。

・本件についてのお問い合わせ先
第一工業製薬(株) 環境安全品質部
TEL 075 - 326 - 7553

以上